

## 「蔵王はるか」 ～みやぎのブランドりんごへ～

### 各地の話題

蔵王町

2019年3月1日 全国農業新聞



蔵王町特産品種の「蔵王はるか」のブランド化を目的とし、同町の農家で結成された「蔵王はるか会」。同会は平成31年1月29日(火)に開催された食材王国みやぎ推進パートナーシップ会議第10回大会において、食材王国みやぎ推進優良活動ブランド化部門の大賞を受賞した。

蔵王はるかは、高い糖度と上品な香りが特長のりんごだ。収穫後はすべて糖度を測定し、14度から17度以上までの5段階にグレードを選別することで高い品質を保っている。そして蔵王はるか特有の上品な香りを感じることができるよう、すべて丁寧にラッピングし販売している。



佐藤宏一会長（62歳）は「蔵王はるかの香りと、その香りを高めるため一つ一つ手作業でラッピングしている点を評価していただいた。また、表彰式後の試食会は多くの方々から大変好評であった」と語る。

蔵王はるかは、蔵王町内のほか宮城県内の百貨店で取り扱われている。町の担当者は「ぜひお手に取ってその甘さと香り、そしてお届けする生産者の思いを感じてほしい」と話す。

【記事提供：蔵王町農業委員会】